



和田副学長 インターナショナルオフィス長就任

ご挨拶

副学長・インターナショナルオフィス長
和田 健司



2023年10月1日付で、副学長(国際戦略・グローバル環境整備担当)・インターナショナルオフィス長に就任しました 医学部教授(医用化学) 和田 健司です。

香川大学は、「世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献する」という理念を掲げています。この理念のもと、インターナショナルオフィスを拠点として国際的な協力関係を強化し、地域社会との連携を深めることでグローバルな人材の育成を積極的に推進しています。さまざまなかたちの海外への学生派遣や、海外インターンシップなどの機会を提供するとともに、個々の到達目標を明確にしたうえで効果的な英語教育を推進しており、さらに、多様な言語を学び、文化を理解する機会を提供しています。また、世界各地からの留学生を積極的に迎え入れ、ともに学ぶことで、多文化共生社会で活躍できる人材の育成に力を注いでいます。

今後は特に、香川県をはじめとする地方自治体や地域企業、地域の皆様と協力して、学生の語学力のさらなる向上や、ダイバーシティ&インクルージョンにかかる教育、地域を巻き込んだ留学生との交流、地域理解プログラムの開発を、強力に推進します。

新しい時代に柔軟かつ力強く対応できるグローバル人材の育成に向けて、インターナショナルオフィスは全力を尽くします。皆様の変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。

<国際交流活性化の推進>

第2回香川大学・チェンマイ大学・国立嘉義大学合同シンポジウム 「Second Trilateral Symposium on SDGs- New Strategic Approaches Towards SDGs Beyond the COVID-19 Pandemic」を開催しました

2023年8月29日～31日の3日間、本学にて第2回香川大学・チェンマイ大学・国立嘉義大学合同シンポジウム「Second Trilateral Symposium on SDGs- New Strategic Approaches Towards SDGs Beyond the COVID-19 Pandemic」を開催しました。

タイ・チェンマイ大学から54名、台湾・国立嘉義大学から39名、スリランカ・ルフナ大学から本学卒業生1名が来学し、本学及び本学関係者115名の参加者を合わせて209名が対面で参加しました。また、オンラインでは25名が参加し、大盛況のうちに終了しました。

本学とチェンマイ大学は、2007年より両大学にて合同シンポジウムを交互に開催し、2018年までに7回の合同シンポジウムを開催しました。



2021年からは国立嘉義大学を加えてTrilateral Symposium on SDGsとして開催したところですが、コロナ禍の影響で第1回はオンライン開催としました。

第2回を2022年に開催予定としていましたが、コロナ禍の状況が改善しなかったため、次年度に繋げるべくオンラインでのセミナーを開催し、今回ようやく対面にて開催することができました。

このように3大学が待望し、数年ぶりの再会に歓喜した開催となりました。オープニングは、原インターナショナルオフィス長の開会挨拶から始まりました。桑原 仁 香川県知事公室長様から香川県知事様のご祝辞を賜り、Pongruk Sribanditmongkol チェンマイ大学長のご挨拶、国立嘉義大学を代表して環境保護安全衛生センター長 Show-Jen Chiou 教授からご挨拶を頂き、最後に筧 善行学長がご挨拶をさせていただきました。

初日は、国立嘉義大学 Show-Jen Chiou 教授と、チェンマイ大学医学部長 Bannakij Lojanapiwat 教授の基調講演、ジョイント・リサーチ・セッション、ポスターセッションを行いました。2日目は、セッショングループ毎にプレゼンテーションを行った後、グループ毎に小豆島、直島、東かがわ市、宇多津町、県内企業などを訪問し、参加者に香川県の地域の取り組みを知っていただきました。3日目は、本学の多田 邦尚 瀬戸内圏研究センター長・農学部教授の基調講演の後、ポスター表彰式を開催し、閉会となりました。ポスターセッションの学長賞には、チェンマイ大学のPh.D学生 Worawoot Aiduang さんが受賞しました。

今回のシンポジウムについては各大学にとって大変有意義な時間を持つことができましたが、特に若手



教員と学生にとっては、国際的な場における研究成果発表や意見交換など、大変貴重な経験になったと考えています。

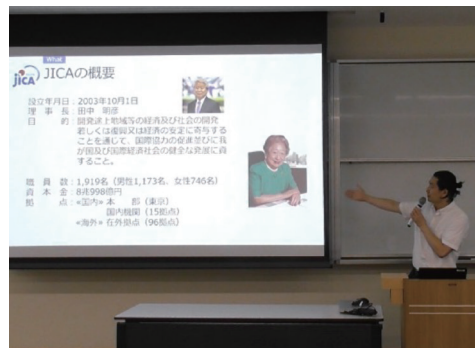
本学では、今後も国際交流活動を継続し、将来的に地域連携・協働に繋がる国際交流を推進して参りたいと考えております。

グローバル・インスピレーション・イニシアティブ

2023年6月8日(木)に、インターナショナルオフィス主催セミナー「グローバル・インスピレーション・イニシアティブ」を経済学部講義「国際企画論」とのコラボ企画として開催し、本学の学生・教職員約70名の参加がありました。

最初に、工学研究科 博士後期課程 2年生の学生より、「国際インターンシップ留学」として、ドイツへの留学を行った工学研究科 博士後期課程 2年生の学生より、留学体験のご報告をいただきました。

続いて、JICA四国センター 船越 洋平氏より、「日本人からはみ出す勇気」という題目で国際社会におけるJICAの役割だけでなく、個人としての国際社会への関わり方や、留学の意義など、をご講演いただきました。



グローバル・カフェのWorkshop及びイベント

○グローバル・カフェ 2023年度前期授業

2023年4月17日から7月14日まで、一般クラス計17クラスを開講しました。夏季休業中の8月7日から3日間には、夏季IELTS試験対策講座としてSpeakingとWritingにフォーカスした講座を実施しました。出身地の異なる4名のネイティブインタビュアーと実践的に対話練習を行い、大変好評でした。また9月26日から4日間、教職員向け英語クラスも実施しました。

Global Café Spring Semester 2023

| Time | Monday | Tuesday | Wednesday | Thursday | Friday |
|-------------|---|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------|----------------------|
| 10:30-11:30 | Tutor Time (30 min) | 留学相談 | English Music Cultures | English Reading Group | English Discussion |
| 12:10-12:50 | | Big Questions | | Feminist Theory (Online) | English Conversation |
| 13:10-14:10 | Discussing Current Events and World News (Online) | | Introduction to Philosophy | | |
| 14:50-15:50 | Spanish | English Language Tabletop Games | Modern Social Issues Chinese | Big Questions (Online) | |
| 16:30-17:30 | Kagawa Introductions | International Language Exchange | European Travel | Model United Nations | |

○TOEIC Speaking & Writingテスト説明会

7月14日(金)にTOEICを実施しているIIBC(一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会)にご協力いただき説明会を行いました。12月17日(日)に幸町キャンパスで実施するTOEIC S&Wテストに向けて10月3日(火)より対策講座を開講します。対策講座を受講した学生は本テストを無料で受検できます。

○グローバル・カフェ 2023年度前期イベント

| | | |
|----|--------------------------------|-------------------|
| 1 | Hanami Partyイベント | 4月 3日(月) |
| 2 | スウェーデンイベント* | 4月12日(水) |
| 3 | アイルランドイベント* | 4月14日(金) |
| 4 | 留学報告イベント(フランス編)* | 5月16日(火) |
| 5 | コロラド州立大学 学生歓迎イベント* | 5月22日(月) |
| 6 | ブラジルイベント* | 5月31日(水) |
| 7 | フランスイベント* | 6月 6日(火) |
| 8 | 留学報告イベント(オーストラリア編)* | 6月15日(木) |
| 9 | Yu Nishiyamaさんによる公開授業&トークイベント* | 6月28日(水) |
| 10 | タイイベント& 留学報告イベント(チェンマイ大学編)* | 7月 4日(火) |
| 11 | ブルネイ・ダルサラーム国イベント* | 7月 6日(木) |
| 12 | 七夕ウィーク | 7月 3日(月)~7月 7日(金) |
| 13 | ドイツイベント* | 7月13日(木) |
| 14 | 意見交換会 | 7月20日(木) |

*ダイバーシティ推進室共催イベント

昨年度発足したD&I推進委員会において、インターナショナルオフィスは多文化共生推進に関する措置を担当することになりました。昨年後期以降のグローバル・カフェが開催する多文化共生に関するイベントについては、多文化共生理解を深めることを目的として、ダイバーシティ推進室との共催としています。



ダイバーシティ推進室
Office for the Promotion of Diversity

グローバル・カフェでは、留学生をスペシャルゲストとしてお招きし、彼らに自国の文化や生活について話してもらったり、海外留学から帰国した香川大学の学生が留学体験を共有したりと、多文化理解・交流イベントを開催して、学生主導によるグローバル化推進を支援しています。

4月、日本の特別名勝に指定されている栗林公園で、桜が満開になる時期に「花見」という伝統的な行事を体験してもらうとともに、学生同士の交流を深める目的で2023年度最初のイベント「Hanami Party」を開催しました。当日は晴天に恵まれ絶好の花見日和となり、写真撮影スポットに到着すると、桜の木から時々舞ってくる桜吹雪に留学生から歓声が上がりました。



6月には、本学の学術交流協定校であるフランスのサボア・モンブラン大学、コンピエーニュ工科大学、アルビ鉱山大学から来日している留学生4人をゲストスピーカーとして迎え、フランスおよび、在籍大学の紹介をしていただきました。それぞれの出身地であるLyon(リヨン)、Annecy(アナシー)、Lille(リール)、Bordeaux(ボルドー)各地の文化の違いに加え、フランス伝統料理であるカタツムリ料理escargots(エスカルゴ)の紹介や、ワインとチーズの消費量が世界最大の国の一つであるなどの紹介がありました。フランスの多様性とそれぞれの都市の魅力を広く知ることができました。

ができました。

月に一度、留学経験者による留学報告イベントも定期的で開催しています。2023年前期は、学術交流協定校であるアレス鉱山大学(フランス)、西オーストラリア大学付属の語学学校CELT(オーストラリア)、チェンマイ大学(タイ)へ留学した香大生をお迎えし、現地での授業や生活の様子、滞在地での旅行体験を紹介してもらいました。



○留学相談

日本人学生を対象に、留学相談を受け付けています。学生の希望に合わせて相談時間を設定し、2023年前期授業期間中に対面もしくはオンラインで計33回(対面31回)実施しました。

グローバル・カフェHP
最新の情報はこちら



サボア・モンブラン大学事務職員研修プログラムを実施しました

Erasmus+ Training mobility研修生として、サボア・モンブラン大学 (USMB) から事務職員3名を2023年7月10日～14日の5日間、受け入れました。

インターナショナルオフィス・国際課によるガイダンス・キャンパスツアーに始まり、来学中のブルネイ・ダルサラーム大学 Nik Tuah教授、Ratna Osman教授との生涯学習やリカレント教育についてのディスカッション、農学研究科日本の食の安全特別コースの教育研究システムに関する講義と企業見学、情報メディアセンターによる本学DX化推進の説明とディスカッション、事務職員が働きながら創発科学研究科生として学ぶ制度の説明、創造工学部とUSMB間の学生派遣プログラムに関する解説、USMBからの短期交流学生との交流、イノベーションデザイン研究所の最新の研究事業体験、研究インテグリティと産学連携・知的財産に関する

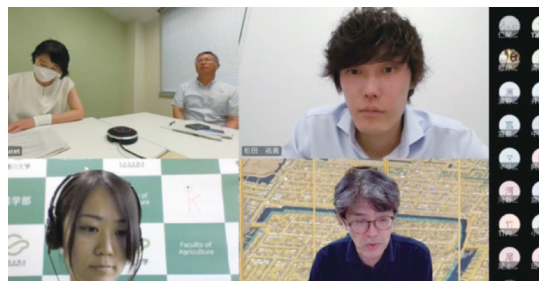
講義とディスカッションなど、他部局の協力を得て内容の濃い充実したプログラムを提供することができました。屋島や瀬戸大橋記念公園の散策など、香川の風景を楽しみながらの会話を通して、日本社会や文化についての理解も深めることができ、受講者たちは本学での学びに大変満足をして帰国しました。



Erasmus+によるサボア・モンブラン大学への語学研修派遣について

昨年に引き続き本学の学術国際交流協定大学であるサボア・モンブラン大学から、本学職員を対象としたErasmus+語学研修プログラムの案内があり、学内選考の結果、増本 恵莉 農学部学務係員、松田 祐貴 医学部研究協力室員の事務職員2名を、2023年6月19日～24日実施の” Summer Modules for Intercultural & Language Education (S.M.I.L.E) 2023” プログラムに派遣しました。

帰国後の7月26日には全教職員を対象としてオンライン報告会を開催しました。本報告会はIO主催SDとして、教職員の国際的な視野を広げ、本学の国際交流の更なる推進を深めることを目的として実施しました。プログラム受講報告のほか、派遣者に課した多文化共生に関する問題の理解についての意見交換も行いました。当日は55名の教職員が出席し、Moodleオンデマンド配信を27名が視聴しました。



<外国人留学生対象行事>

2022年度後期、2023年度前期 さぬきプログラムおよび日本語研修コース受け入れ

2022年度後期には、第17期さぬきプログラム学生3名(台湾2名、タイ1名)と、日本語・日本文化研修留学生4名(タイ1名、ブラジル3名)の計7名を、2023年度前期には、第18期さぬきプログラム学生12名(タイ5名、ブルネイ4名、台湾1名、韓国1名、アメリカ1名)を迎えることができました。この2期で印象的だったのは、言わば常連となっているタイ・台湾・ブルネイ等からの学生だけでなく、本プログラム初のアメリカからの学生の参加があったこと、3名の日系人学生が来てくれたことです。多様なバックグラウンドを持つ学生が集まることで、共に学ぶ留学生同士のみならず、共修授業やグローバル・カフェ等で接点を持つ日本人学生にとっても、貴重な交流や学びができたものと思われま



小豆島でのビーチクリーンの様子
(2022年11月)



そして、2023年度後期には、第19期さめきプログラム学生7名(台湾3名、韓国2名、ドイツ1名、ブルネイ1名)、教員研修留学生1名(マラウイ)、日本語・日本文化研修留学生3名(韓国1名、ブラジル2名)、計11名の新メンバーを迎えることができました。この11名については、次号にてご報告予定です。半年間のプログラムであるさめきプログラムは、次期が第20期となります。立ち上げ10年の節目を経て、より一層充実したプログラムを目指していきたくと思っています。



18期生が中心の日本語授業の様子(2023年4月)

留学生のつどい

2023年1月22日(日)に、香川県留学生等国際交流連絡協議会主催、香川大学学長主催外国人留学生交歓会共催で、「2022年度留学生のつどい」を実施しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、対面での実施は3年ぶりとなります。今回はZOOMも利用し、県内大学や専門学校に在籍する外国人留学生、関係機関や国際交流団体およびホストファミリーなど約100名が参加しました。

4部構成で実施し、第1部ホームビジット報告会では、参加学生2名とホストファミリーによる報告が行われました。第2部第16回外国人留学生等作文コンテスト表彰式では、受賞者への表彰と、作品のインタビューが行われました。第3部留学生によるPerformanceでは、香川大学の学生2名の司会進行のもと、7組の留学生による歌やダンスが披露されました。最後に第4部意見交換・交流会では、記念撮影をしたり和やかに歓談がすすみ、交流を楽しみました。

本会が留学生にとってコロナ禍による日頃の疲れや不安を払拭する機会となり、今後、より一層、地域との交流の輪を広げる機会となることを期待します。



外国人留学生等作文コンテスト

香川県留学生等国際交流連絡協議会(事務局本学)が主催し、留学生・研修生・技能実習生等を対象に実施している日本語作文コンテストは第19回となりました。今回は、「コロナ終息後にしたいこと」「日本(香川)での経験を将来にどう生かすか」の2つのテーマを設定、応募者はどちらか1つを選び、日本語能力に応じて定められた字数内で作文しました。県内で学ぶ中国、台湾、タイ、インドネシア、ベトナム、ブラジルからの留学生計13名より応募があり、選考を経て優秀賞等の入賞者が決定しました。

コロナによる制約が緩和され、県内の留学生数も徐々に戻りつつありますが、やはりまだコロナ前ほどではなく、本コンテストの応募者数もやや少なめではありました。ですが、この時世に強い意思や意欲を持って留学してきた学生たちだけあって、どの作品も前向きな思いにあふれ、読む者が勇気づけられるような、頼もしい作品となっていました。

前年度第18回では、対面・オンラインともに調整が叶わず表彰式が開催できませんでしたが、この第19回では、別項で紹介する「留学生のつどい」の中で対面で表彰式を行うことができ、その意味でも今後の明るい未来につながるコンテストとなったと思います。

<日本人学生派遣事業>

プトラ・マレーシア大学の学生と共に学ぶマレーシア・多文化体験プログラム

2023年3月5日から3月12日まで、2022年度春期 超短期留学入門プログラムを実施しました。このプログラムは全学部の1、2年生を対象とし、海外で多様な文化・社会に触れ、フィールドワークを通して多様性の理解を促進することを目的に企画されました。このプログラムは本学の学術交流協定校であるプトラ・マレーシア大学 (UPM) の全面的なご協力のもと初めて実施され、本学から男子学生4名、女子学生16名、合計20名が参加しました。



(左上から時計回りに) アイスブレイキング、UPMモニュメントでの記念撮影、演習林でチキンの丸焼きなどを食する体験、バディとの交流の様子

参加学生の大半にとって初の海外渡航でしたが、現地ではUPMの学生 (バディ) によるサポートを受け一緒に活動しました。授業のほか、同大学の演習林やクアラルンプール市内でのフィールドワークなどを通してマレーシアの人々の生活や多文化共生の現状を学びました。参加学生からは「異なる文化を持つ人々を互いに尊重する姿勢や配慮を実感した」「様々な食文化や宗教文化が混在することを体感した」などの感想が寄せられました。プログラムの終盤には、予め設定した課題について現地で学んだことを英語で発表しました。慣れない英語のプレゼンテーションの準備のために、皆、睡眠時間を削って頑張りました。全ての面で手厚くサポートしてくれたバディやマレーシアの方々の温かさに大きな感銘を受け、感謝でいっぱいの気持ちで帰国しました。

2023年12月にはUPMの学生10名が本学に訪問しました。相互訪問により、両大学の交流がますます活発になることが期待されます。

日本学生支援機構 (JASSO) 協定派遣プログラム (通称「がいな」) について

日本学生支援機構 (JASSO) 2023年度の海外留学支援制度に採択された「SDGsと紐づけた学習活動の実践によるグローバルコンピテンシーをもつ『がいな』人材育成プログラム」による協定校派遣を2023年8月から開始しました。10月までの派遣先はブルネイのブルネイ・ダルサラーム大学 (2名)、タイのチェンマイ大学 (1名)、台湾の国立政治大学 (2名) です。2023年度はさらに台湾の国立政治大学 (2名)、台湾の真理大学 (1名) が派遣される予定です。

8月から10月に派遣された5名の学生は、7月15日にグローバル・カフェで実施した事前研修を受講しました。研修では「自分とつながる・課題とつながる」をテーマに、留学計画書にまとめた課題とSDGsとの関連をより明確にし、留学計画をブラッシュアップしました。派遣先によって留学期間は4か月から11か月と異なりますが、派遣学生がそれぞれの留学目的に沿って留學生活を送ります。どのような学びや成長があるのか、帰国報告会が楽しみです。



事前研修の様子。留学計画のブラッシュアップ (左) とその発表の様子 (右)。

ちきゅう見聞録

学術交流協定校に派遣された学生による留学報告です。大学での授業のほか、寮生活、クラブ活動、旅行、食生活など様々な体験が伝わってきます。ぜひご覧ください!

https://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/study_abroad/publication-2/



Vol.44

Vol.45

インターナショナルオフィスからのお知らせ

退任のご挨拶

原 直行

2023年9月末日をもってインターナショナルオフィス長を退任しました。後任は副オフィス長だった和田健司先生となります。

2年間のインターナショナルオフィス長でしたが、インターナショナルオフィスの教員、国際課の職員の方々には大変お世話になりました。誠にありがとうございました。

2年間で最大の仕事はタイ・チェンマイ大学、台湾・国立嘉義大学と香川大学による合同シンポジウム「2nd Trilateral Symposium on SDGs」の実施です。当初は2021年夏に実施する予定でしたが、コロナのために1年延期し、2023年8月29日～31日に実施することができました。1年がかりで準備し、私自身、チェンマイ大学、国立嘉義大学に直接出向いて話し合いを行いました。無事開催し、盛大に実施できたのは、インターナショナルオフィス、国際課の教職員の皆さんはもちろん、関わってくださったすべての方々のご協力の賜物です。感謝の念に堪えません。

一方で、目減りするグローバル人材育成特定基金の枯渇化、「トビタテ!留学JAPAN」の後継事業については道筋をつけることができませんでした。残された皆さんでこのテーマに取り組んでくださったら幸いです。10月1日からは、産官学連携、特命担当の副学長として、地域連携の仕事が主になります。今後はグローバルとローカルをつなげることも仕事になります。引き続きインターナショナルオフィスと連携していければと思います。

本当にありがとうございました。

香川大学
インターナショナルオフィスニュース
第28・29号 2023年(令和5年)12月24日

香川大学インターナショナルオフィス
〒760-8521 高松市幸町1-1
Tel : 087-832-1318 Fax : 087-832-1192
E-mail : kokusai-h@kagawa-u.ac.jp
URL : <https://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/>
留学生センターfacebook
URL : <https://www.facebook.com/KUISC>
グローバル・カフェfacebook
URL : <https://www.facebook.com/GlobalCafeKagawaUniv>